

13 施設・設備

進捗状況報告

西宮上ヶ原キャンパスにおいては、2008年3月にG号館を竣工し、人間福祉学部を開設、国際教育・協力課及び言語教育関連施設の移転を行った。また、教室不足を解消するため、全学共用施設として、600人・300人教室各1室、小教室33室を同館に設置。その他、学生ラウンジや教員個人研究室などの充実も行った。

神戸三田キャンパスにおいては、総合政策学部・理工学部の改組のため、大教室や図書館を含む全学共用棟を工事中で、2009年3月までにV号館（理工学部施設）、実験棟（総合政策学部施設）の新築と既存施設の改修を計画している。

マルチメディア環境については、2008年度より4カ年計画で西宮上ヶ原、神戸三田、大阪梅田の各キャンパスにおいて、51人以上の教室を映像系設備（液晶プロジェクターもしくはプラズマディスプレイ）が完備されている状態に整備していくことを決定した。以前より大教室においてマルチメディア設備の整備を進めてきたが、既設の液晶プロジェクターについても、大規模教室では6000ルーメン相当、中規模教室では3000ルーメン相当の輝度の機器に適宜更新をしていく。具体的な整備対象教室数として、現時点では2008年度：28教室、2009年度：23教室、2010年度：25教室、2011年度：20教室を計画している。

また、情報環境整備として、2007年度に新築のG号館を含め、西宮上ヶ原キャンパスの全講義棟に無線LANを配備し、神戸三田キャンパスの無線LAN（2002年度設置）については、認証基盤統一のため、802.1X対応のネットワーク機器に入れ替えた。次年度も継続し、西宮上ヶ原キャンパスの教室を持つ講義棟と大学図書館、神戸三田キャンパスの共用棟およびⅢ号館1Fに無線LANを配備する予定である。

学内第三者評価

多くの制約の中で情報化や教室のAV施設の充実が進められていると認められる。大学の様々な施策が施設面での制約を受けていることがあり、それへの対応（ケーブルテレビの常設やインターネット施設の充実、客員研究者や留学生のための宿泊施設の拡充等）が検討され、具体化されることが望ましい。